

と成る、此時德利を抜キ冷し候得ば、能き配ニ成、

右之上へ又糶壹升、蒸食貳升、水四升計り入、能交蓋ヲ掛ケ、一日兩度計交、二日程隔、又糶貳升、蒸食四升、水七八升入、能交置蓋ヲ掛ケ、一日兩度計交候得ば、酒之味ニ成者也、是を濁酒と云ふて諸味之儘温テ吞、

〔濁酒手造渡世之者之儀ニ付調〕市中ニ而冬春濁酒、夏氣焼酎重ニ手造いたし、おろし賣又者居酒商候もの人數、其外共御尋ニ付、左ニ奉申上候、

一天保八酉年前後、諸國米違作ニ付、市中に而も食物粥相用候様御觸有之折柄、市中に入津米を猥に濁酒手造いたし候間、其砌米方御掛筒井肥前守様町方御勤役之節、右稼方之者御取調有之處、町方壹番組より貳拾壹番組、其外迄、同年人數千八百六拾三人、此内、

千七百五十九人

是者天保四巳年已來、濁酒造方相始候ものニ付、酉年中より差止可申旨被仰渡候、

百貳拾四人

是者天保四巳年已前より、濁酒造方一式之稼方ニ付、先其儘差置、追々米價下置ニ相成稼方

不及難儀時節ニ至、差止可申旨被仰渡候、

右取調仕譯相立候上、翌戊年左之通被仰渡候、

町々
世話掛
名主共

御府内濁酒造入新規之分者勿論、都而去ル巳年已後之分者差止、巳年已前之分迎も、外商賣有之もの者、全之渡世ニ離候筋ニも無之候間、是又差止、巳年已前より濁酒一式之稼方いたし候もの共者、先其儘差置、追々米價下直ニ相成、格別不及難儀時節ニ到候ハ、右之分も差止可申、尤當時